

# カレンダーの絵を描こう

美術コース

## イラストレーション



講師  
はまの  
ゆか

### 目的

- ・イラストレーターという職業を知る。

### 効果

- ・実生活にイラスト制作を役立てる。

### 到達点

- ・楽しんでイラストを描く。



### 事前学習

1～12月の中から好きな月をイメージして、必要な資料を集める。

### ワークショップの流れ（1日間〈3コマ/日〉）

講師が制作したカレンダーを鑑賞しながら、イラストレーターの仕事の説明



1枚のイラストを描く講師のデモンストレーションを見学



1～12月から選んだ月をイメージして、イラスト制作



制作中、具体的アドバイス



作品発表し、1つずつ作品の総評したあと合評および質疑応答

### 事後学習

作品に日付を書き込み、カレンダーを完成させて展示する。

### 略歴

イラストレーター

京都精華大学マンガ専攻卒業。大学在学中「あの金で何が買えたか」（小学館、村上龍・著）でデビューする。絵本・イラスト・装丁・イメージクリップなど幅広く活躍。第36回日本漫画家協会賞・特別賞「2007 mamechan calendar」など多数受賞。

### advice points

- 講師のイラスト集や、色々なカレンダーを集めて鑑賞しておく。
- 事前に、より具体的な制作イメージを準備しておく、制作時間が短縮できる。

## …ワークショップを実施して…

### 講師の感想

生徒たちは、資料などをきちんと準備して、まじめに取り組んでいた。講師の側からも、高校生たちの絵や発想から得るものが多かった。コミック系やステーションナリーにあるような絵、グラフィティー系など、今の時代を感じさせる感性は大変刺激になった。

### 先生の感想

生徒たちには、自分の作品が単なる授業の課題ではなく、メッセージを伝える表現手段であるという自覚が芽生えた。個人の作品を慈しみ大切にするとともに、互いの表現方法を尊重する姿勢が見られた。印刷物でない手描きの絵ができる過程を、説明を聞きながら見られたのが収穫であった。また、プロが使う道具にも関心をもちたせることが出来た。

### 生徒の感想

- ・講師が下書きの段階で考えをまとめ、本番は迷いなくすらすら描くのが印象的だった。
- ・自分の好きなこと、感性を使ったことを仕事にしている講師を見て、自分も夢を実現させたいと強く思った。
- ・自分も想像力を豊かにして、思うままの絵が描けるようになりたい。

### より発展的なワークショップを実施するために

- カレンダー以外に、小説などの原作から絵本づくりに挑戦する。
- 日々の出来事をイラスト日記として描く。